

令和6年度用 小学校 図画工作 教科書 年間指導計画例

1. 題材配列の基本的な考え方

教科書の各学年における題材は、発達の段階に応じて実践に適切な季節及び行事との関係、内容（造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞）や学習指導要領で扱われる材料・用具によって系統的に構成され、カリキュラム順に配列されています。また、学習指導要領で「教科の目標」として示されている三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）をバランスよく育てられるように6年間を通して考えられています。

2. 3学期制、2学期制のカリキュラムについて

1で述べたように、教科書の題材配列はカリキュラム順を意識していますので、基本的にはページの順番に学習することが可能です。したがって、各学年の年間指導計画例では、教科書のページ順に示しています。しかし、たとえば、学校行事などに合わせる場合や、学期をまたがないように題材を終了させたい場合などは適宜学習の順番を入れ替えて使用することを推奨します。また、いくつかの題材は選択題材の扱いとしています。児童の興味や関心、活動のペースやリズムを大切に、各学校や児童の実態に合わせて、自由に選択したり、計画を修正したりしてご活用ください。なお、本指導計画においては、1単位時間を45分として扱っています。

3. 凡例

活動の内容は以下のように示しました。なお、表現と鑑賞は一体的に扱われるものであるため、表現題材の中での鑑賞活動や、鑑賞と一体的に扱われる表現活動などは、共通的に理解されているものとして、煩雑になるのを避けてあえて記さず、その題材での中心的な内容のみを示しています。

〔遊〕 = 造形遊びをする活動

〔絵〕 = 絵に表す活動 / 〔絵・版〕 = 版に表す活動

〔立〕 = 立体に表す活動

〔工〕 = 工作に表す活動

〔鑑〕 = 鑑賞する活動

また、育てたい三つの資質・能力はすべての題材でかかわってきますが、その題材で特に大切にしたい目標を表しています。

● = 「形や色、方法や材料を知って、工夫する力」

● = 「ためしたり、見つけたりして、考えたり、思いついたりする力」

● = 「心を開いて楽しく活動し、友達とかかわり、協力し合う力」

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

■第2学年の年間指導計画(案) (年間授業時間数70時間)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70	3学期制 2学期制	1学期 24時間 2学期 28時間 3学期 18時間	前期 36時間 後期 34時間	時数	題材名	学習指導要領との関連								
						内容	A表現(1)		A表現(2)		B鑑賞(1)	[共通事項]		
							ア	イ	ア	イ	ア	ア	イ	
				2	●好きなこと なあに	[絵]		○		○			○	○
				2	●こんにちは むぎゆたん	[立]		○		○			○	○
				4	●クレヨン、パスで らんらんランド	[絵]		○		○			○	○
				2	●さらさら どろどろ	[遊]	○		○				○	○
				4	●おはながみ かさねて すかして	[工]		○		○			○	○
				2	●つんで ならべて びっくりシタワー	[立]		○		○			○	○
				2	●ならべて 見つけて いろいろ色水	[遊]	○		○				○	○
				2	●ふたりは なかよし	[立]		○		○			○	○
				4	●どうぶつさんと いっしょに	[絵]		○		○			○	○
				4	●ジャンプ! キャッチ! 紙けん玉	[工]		○		○			○	○
				2	●えのぐじま	[絵]		○		○			○	○
				2	●どンドン かわるよ 新聞紙	[遊]	○		○				○	○
				4	●ぎゅっとしたい! わたしの「お友だち」	[工]		○		○			○	○
				4	●えのぐひっぱレインボー	[絵]		○		○			○	○
				2	●コップ くるくる チェンジ	[工]		○		○			○	○
				2	●たからもの ものがたり	[鑑]						○	○	○
				2	●しぜんからの おくりもの	[遊]	○		○				○	○
				2	●わくわく カッターナイフ	[工]		○		○			○	○
				4	●まどのある たてもの	[工]		○		○			○	○
				4	●あなで つながる 二つの せかい	[絵]		○		○			○	○
				4	●たくさん うつそう わたしの 形	[絵・版]		○		○			○	○
				4	●まごころメダルを プレゼント	[工]		○		○			○	○
				6	●かぶって へんしん	[工]		○		○			○	○

第2学年の年間授業時間数	70
絵や立体に表す活動に配当する時間数	30
工作に表す活動に配当する時間数	30
その他の活動(造形遊び、鑑賞)に配当する時間数	10

題材ごとの観点別評価規準

1. 観点別評価規準の基本的な考え方

本資料には、令和6年度版「図画工作」での年間指導計画作成の際に必要な題材ごとの評価規準を記載しています。評価規準は、児童が題材の学習を通して身につける資質・能力の状況を題材ごとに学習内容に基づいて表したものです。地域や児童・学校の実情に応じて評価・評定にお役立てください。

平成29年の学習指導要領改訂に関わって、評価の観点が3観点到整理されました。本資料においては、「観点別評価規準」とあわせて先生方の利便性を考慮し、あくまで一例ではありますが、「十分満足できると考えられる具体的な姿の例」を掲載しました。

教科書においては、題材ごとの目標を児童に向けて「学習のめあて」として示し、中心となる課題を「特に大切なめあて」として強調して示しています。本資料においても「☆」マークで強調して示し、「特に大切なめあて」として強調して示した項目に関連して作成しています。

2. 凡例

本資料において、「学習のめあて」を以下の項目で示しました。

知：「知識及び技能」に関する目標

思：「思考力、判断力、表現力等」に関する目標

学：「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

また、「観点別評価規準」を以下の項目で示しました。

知：知識の観点

技：技能の観点

発：発想・構想の観点

鑑：鑑賞の観点

主：主体的に学習に取り組む態度の観点

なお、本資料においては、1単位時間を45分として扱っています。

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
すきなことなあに	絵	2	遊んだこと、友達や家族としたこと、好きなことをしている自分を描く。	知	好きなことの形や色を工夫して描く。	知 絵に表すことを通して、形や色などに気づいている。	自分が好きなことを絵に表す学習活動に強い関心をもち、たのしく取り組もうとしている。	クレヨン、パス、画用紙、色画用紙など
				技		技 表したいことをもとに、形や色、表し方を工夫して表している。		
				思	描きたい場面を考える。	発 経験をもとに表したいことを見つけ、形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。		
				鑑		鑑 自分や友達の作品の表したいことや表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。		
☆学	好きなことを思い浮かべながら描くことをたのしむ。	主 自分が好きなことを絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。						
こんにちは むぎゅたん	立	2	「むぎゅたん」という想像の生き物を粘土で立体に表す。	知	ひねったりつまんだりして形を工夫する。	知 手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形などに気づいている。	粘土の塊からひねったり、つまんだり、伸ばしたり、穴を開けたりする操作を通して、思いついた形を変えながら表したい想像の生き物を見つけて、どのように表すか考えている。	粘土土、粘土べら、粘土板、タオルなど
				技		技 粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。		
				☆思	粘土の形を変えながら、想像した生き物を考える。	発 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				鑑		鑑 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形のよさや面白さ、表し方などについて感じ取って、自分の見方や感じ方を広げている。		
学	粘土の触り心地を感じながらつくることをたのしむ。	主 自分らしい「むぎゅたん」を表すことに関心をもち、粘土に積極的に働きかけながら立体に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。						
クレヨン、パスでらんらんランド	絵	4	クレヨンやパスでぼかしたりひっかいたりして、感じたことや思いついたことを絵に表す。	☆知	クレヨンやパスの表し方を工夫する。	知 ぼかしたり引っかいたりするなどのいろいろな表し方からクレヨンやパスで表す形や色に気づいている。	クレヨンやパスのいろいろな表し方を積極的に試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさ、面白さに気づくとともに、表したいことに応じて表し方を選んだり、それらを組み合わせたりするなど、工夫して表している。	クレヨン、パス、画用紙など
				技		技 いろいろな表し方を試したり組み合わせたりしながら、表し方を工夫して表している。		
				発	こずってぼかしたり引っかいたりして描きた	発 クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				心 いもの考える。	鑑 クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 ぼかしたり引っかいたりして描く絵をたのしむ。	主 クレヨンやパスをぼかすことや引っかいたりすることで絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
さらさら だるだる	遊	2	土の触り心地を味わいながら活動する。	知 砂や土を掘ったり丸めたり並べたりする。	知 自分の感覚や行為を通して、砂や土の形や色などに気づいている。	砂や土の触り心地を存分に味わい、並べる、つなげる、積み、掘る、水を流すなど、体全体の感覚を働かせ、友達と協力しながら学習活動にたのしく取り組もうとしている。	砂や土、水、バケツ、タオルなど
				技 砂や土に十分に慣れ、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。	技 砂や土の触り心地を味わい、砂や土で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
				発 砂や土の形や色などをもとに、造形的な活動を思いつき、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考えている。	発 砂や土の触り心地を味わい、砂や土で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
				鑑 砂や土の造形的な面白さやたのしさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 砂や土の触り心地を味わい、砂や土で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
			☆学 砂や土の触り心地をたのしむ。	主 砂や土の触り心地を味わい、砂や土で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
おはながみ かさねて すかして	工	4	お花紙をちぎって重ねて貼り、光を通すと美しい飾りをつくる。	知 お花紙の並べ方や重ね方を工夫する。	知 作品づくりやできた作品を飾ることを通して、触った感じや、重なったお花紙の形や色などに気づいている。	お花紙の形や色、触り心地をもとに、いろいろな並べ方や重ね方を積極的に試しながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	お花紙、洗濯のり、ビニル袋、ビニルシート、タオル、ペットボトルなど
				技 お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技 お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				☆発 並べたり重ねたりしたお花紙から、好きな感じを考える。	発 お花紙を並べたり重ねたりしたときの形や色、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				鑑 お花紙の手触りや変化を感じ取ったり自分や友達の表し方を見たりして、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 お花紙の手触りや変化を感じ取ったり自分や友達の表し方を見たりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学 お花紙の手触りや変化をたのしむ。	主 お花紙の触り心地や変化を味わいながら、飾りをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
			知 粘土の積み方や並べ方を工夫する	知 見たことがない形の「びっくりしタワー」をつくることを通して、粘土の形などに気づいている。	知 見たことがない形の「びっくりしタワー」をつくることを通して、粘土の形などに気づいている。	粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、見たことがない形をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	土粘土、粘土板、タオルなど

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
つんでならべてびっくりタワー	立	2	粘土を積んだり並べたりしながら、つくりたいものをつくる。	知	粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに粘土の積み方や並べ方を工夫して表している。			
				発	粘土を積んだり並べたりしながら、感じたことや想像したことから自分がつくりたい形を考えている。			
				思	積んだり並べたりした形から、つくりたいものを考える。			
				鑑	互いの作品の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。			
☆学	粘土を積んだり並べたりして、つくることをたのしむ。	主	粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、つくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。					
ならべて見つけていろいろ色水	遊	2	色水をつくりながら思いついた活動をする。	知	色水をつくり方や並べ方を工夫する。	つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、自分なりにどのように活動するか考えている。	共同絵の具、インク、水、透明容器、ビニル袋など	
				技	いろいろな色の色水をつくり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。			
				☆発	色水をつくりながら、どんなことができるか考える。			つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	自分や友達の活動の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。			
				学	色水をつくり並べたりすることをたのしむ。			主
ふたりはなかよし	立	2	紙コップや紙づつを組み合わせ、二人組をつくる。	知	紙コップや紙づつの形や飾りのつくり方を工夫する。	仲良しの二人組を意欲的につくり、友達と交流したりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。	紙コップ、紙づつ、色紙、色画用紙、接着剤、のり、カラーペン、はさみなど	
				技	手や体全体の感覚を働かせながら、自分の表したい二人組の表し方を工夫して表している。			
				☆発	どんな二人組にするか考える。			紙コップや紙づつの形や色などをもとに、自分のつくりたい二人組を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の二人組の形や色などについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。			

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				☆学 仲良しの二人組をつくってたのしむ。	主 仲良しの二人組をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
どうぶつさんと いっしょに	絵	4	見たり遊んだりした動物を思い出して絵に表す。	☆知 描きたい場面になるように、形や色を工夫する。	知 動物との関わりを思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づいている。	動物の形や色、触った感じ、まわりの風景などをよく思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づくとともに、表したい場面になるように描き方を工夫して表している。	クレヨン、パス、画用紙、色画用紙など
					技 表したいことをもとに描き方を工夫して表している。		
				思 描きたい場面やそのときの気持ちを考える。	発 動物を見たり触れ合ったりしたときに感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
					鑑 自分や友達の表したいことや表し方に着目して、よさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学 動物といっしょにいる場面を描くことをたのしむ。	主 動物との関わりを思い出して、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
ジャンプ！ キャッチ！ 紙けん玉	工	4	仕組みを生かした紙けん玉をつくって遊ぶ。	☆知 紙けん玉の形や色、つくり方を工夫する。	知 紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づいている。	紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づくとともに、すきな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造やたのしい遊び方を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を自分なりに工夫して表している。	厚紙、割り箸、ひも、ビニルテープ、カラーペン、はさみなど
					技 すきな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				思 仕組みからつくりたい紙けん玉を考える。	発 仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑 友達と作品で遊び合い、よさや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学 紙けん玉をつくったり、遊んだりすることをたのしむ。	主 けん玉をつくって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
えのぐじま	絵	2	筆をのびのびと動かして描きたい「えの	知 筆使いや色の組み合わせを工夫する。	知 筆をのびのびと動かして描くことを通して「えのぐじま」の形や色などに気づいている。	絵の具を筆で塗る心地よさを体全体で十分に味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく活動に取り組もうとしている。	共同絵の具、筆、画用紙、新聞紙など
					技 筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら表し方を工夫して表している。		
					発 「えのぐじま」などの言葉や絵の具の感触から表したいことを見つ		

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
ぐじま			ぐじま」を描く。	<p>思 描きたいえのぐじまを考える。</p> <p>☆学 絵の具と筆でのびのびと描くことをたのしむ。</p>	<p>知 け、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 絵の具で描かれた形や色などのよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 絵の具を筆で塗る心地よさを味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>		
どんどんかわるよ 新聞紙	遊	2	体全体を使って、新聞紙で活動する。	<p>知 新聞紙のねじり方、裂き方などを工夫する。</p> <p>☆思 新聞紙をねじったり裂いたりしながら、どんなことができるか考える。</p> <p>学 新聞紙の手触りなどを感じながら、変化させることをたのしむ。</p>	<p>知 新聞紙に働きかけることを通して、変化する形などに気づいている。</p> <p>技 新聞紙を折ったり、ねじったり、裂いたりするなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。</p> <p>発 新聞紙に働きかけることを通して、変化した感じなどをもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。</p> <p>鑑 さまざまに変化した新聞紙の感じや表現などの面白さやたのしさを味わい、自分の見方や考え方を広げている。</p> <p>主 新聞紙の触り心地を味わい、手や体全体で新聞紙に働きかけて変化させる学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	積極的に新聞紙に働きかけ、変化した感じなどをもとにさまざまな造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	新聞紙など
ぎゅっとしたい！わたしの「お友だち」	工	4	紙をもんで柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」をつくる。	<p>☆知 袋の形や色、材料の使い方を工夫する。</p> <p>思 柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」を考える。</p> <p>学 「お友だち」をつくることをたのしむ。</p>	<p>知 紙をもんで柔らかくして「お友だち」をつくることを通して、紙の形や色などに気づいている。</p> <p>技 手や体全体の感覚を働かせ、紙を柔らかくして自分の表したい「お友だち」の表し方を工夫して表している。</p> <p>発 柔らかくなった紙の袋の形や色から自分の表したい「お友だち」を思いつき、形や色などどのように表すか考えている。</p> <p>鑑 「お友だち」の形や色、感触などについて、感じ取ったり味わったりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 自分の「お友だち」をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	もんで柔らかくした紙の形や色、感触などの感じに気づくとともに、手や体全体の感覚を働かせ、自分の表したい「お友だち」の形や色、材料の使い方を工夫して表している。	クラフト紙、色紙、新聞紙、接着剤、はさみなど
				<p>知 絵の目ののび方を工夫する</p>	<p>知 自分の感覚やへらを引く行為を通して、形や色などに気づいている。</p>	色を選んだり、厚紙の引き方を工夫したりして、つくりだす喜びを味わい、絵の具をのばして絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	絵の具、クレヨン、パス、画用紙、段ボールなどの厚紙、新聞紙など

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
えのぐひっぱレインボー	絵	4	厚紙や段ボールの切れ端などで絵の具をのばし、できた模様から絵に表す。	学習のめあて	技 絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				思 伸ばした絵の具の形や色から表したいことを考える。	発 厚紙でのばした絵の具の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				鑑 自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表したいことなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	主 作りだす喜びを味わい、絵の具をのばして絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
				☆ 学 絵の具をのばして描くことをたのしむ。			
コップくるくるチェンジ	工	2	紙コップに透明なコップを重ねて回転させることで絵が変化する仕組みから、表したいものをつくる。	知 絵の動かし方や、作り方を工夫する。	知 紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や形、色などに気づいている。	紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や形、色などに気づくとともに、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	紙コップ、透明なコップ、上質紙、カラーペン、のり、はさみ、洗濯ばさみなど
				技 仕組みを試しながら、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	発 仕組みから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				思 重ねて回すと絵が変化する仕組みから、表したいことを考える。	鑑 自分や友達の作品を動かしたり見たりしながら、いろいろな表し方の面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 つくって動かす活動をたのしむ。	主 仕組みに関心を持ち、表し方を考えながら、つくって動かす学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
たからものものがたり	鑑	2	宝物が大切な理由を考えて、友達に伝える。	知 宝物の形や色などに気づく。	知 身近にあるものを集めることを通して、その形や色などに気づいている。	身近なものを鑑賞する活動を通して、自分や友達の作品の造形的面白さやたのしさ、見方や感じ方の違いを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	宝物、色鉛筆、画用紙など
				技 自分の気持ちをカードに工夫して表している。	発 身近なものにある思い出などから自分のイメージをもっている。		
				☆ 思 大切な宝物にしている理由を考える。	鑑 身近にあるものの造形的面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
				学 宝物を見て、話し合う活動をたのしむ。	主 身近にあるものに関わり、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
しぜんからのおくりもの	遊	2	自然の材料を集め、つないだり組み合わせたりして活動する。	知 材料の並べ方や重ね方など、組み合わせを工夫する。	知 自然の材料を集め、並べたり組み合わせたりすることを通して、材料の形や色などに気づいている。	自然の材料の形や色、触った感じなどに積極的に関わりながら、自然の材料を並べたり組み合わせたりして、思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	自然の材料、ひも、紙の粘着テープなど	
				技	技 自然の材料を並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせて、活動を工夫してつくっている。			
				思	思 自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。			
				鑑	鑑 活動によって表れた造形的な面白さやたのしさから、自分の見方や感じ方を広げている。			
				☆ 学 自然の材料でたのしく活動する。	主 自然の材料の形や色に関心を持ち、思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
わくわく カッターナイフ	工	2	カッターナイフを使っていろいろな線を切る活動をする。	☆ 知 カッターナイフの使い方に慣れる。	知 カッターナイフで紙を切ることを通して、切った形や色に気づいている。	カッターナイフでいろいろな線を切ることで、切った形や色に気づくとともに、カッターナイフの安全で正しい使い方に十分に慣れ、いろいろな線で切ることやその効果を試し、工夫して表している。	色画用紙、ホチキス、接着剤、カッターナイフ、カッターマットなど	
				技	技 安全で正しいカッターナイフの使い方に慣れ、いろいろな線で切ることを試し、工夫して表している。			
				思	思 切った形から、つくりたいものを考える。			発 カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	鑑 形や色などをもとに、作品のよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。			
				学 紙を切るたのしさを味わう。	主 カッターナイフで紙を切る心地よさを味わい、紙を切る学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
キッズのある たてもの	工	4	色画用紙や色造形紙をカッターナイフで切って窓を開けるたてもの 建物をつくる。	知 建物の形や、窓の開け方を工夫する。	知 カッターナイフで紙を切って窓や扉のある建物をつくることを通して、建物や窓や扉の形や色などに気づいている。	安全で正しいカッターナイフの持ち方、切り方を意識しながら、切った形をもとに表したいことを見つけ、自分なりにどのように紙を切って表すか考えている。	画用紙、色画用紙、接着剤、カッターナイフ、カッターマットなど	
				技	技 カッターナイフの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに、建物や窓や扉の開け方を工夫して表している。			
				発	発 カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どの			

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
よこながのたてしん	工	1	ツルと心を両方作るように、建物を作る。	☆ 思 どのような形に切るか考えたり、どんな建物にするか考えたりする。	知 どのように表すか考えている。		
				学 Cutterナイフで紙を切つてつくることをたのしむ。	鑑 自分や友達の作品を見せ合い、その面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
					主 Cutterナイフで紙を切る快さを味わい、Cutterナイフで紙を切つて表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
あなでつながる二つのせかい	絵	4	画用紙に穴を開けて、つながる二つの世界を絵に表す。	知 穴を生かした絵の描き方を工夫する。	知 穴でつながる二つの世界を描くことを通して、そこに生まれる形や色に気づいている。	穴でつながる二つの世界を豊かに想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか自分なりに考えている。	クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、はさみ、Cutterナイフ、Cutterマットなど
				技 穴の位置や開け方を工夫したり、描きたい二つの世界の表し方を工夫したりして表している。	技 穴の位置や開け方を工夫したり、描きたい二つの世界の表し方を工夫したりして表している。		
				☆ 思 表と裏の二つの世界を考える。	発 穴でつながる二つの世界を想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				鑑 二つの世界を行き来しながら自分や友達の作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 二つの世界を行き来しながら自分や友達の作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 友達と作品を見せ合ってたのしむ。	主 自分や友達の作品のよさを味わい、穴でつながる二つの世界を描く学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
たくさんうつそうわたしの形	絵・版	4	型紙をつかって並べ方や重なり方などを工夫して版画に表す。	☆ 知 繰り返しや重なりなど、写し方を工夫する。	知 版を写す活動を通して、写すものの形や色に気づいている。	版を写す活動を通して、写すものの形や色に気づくとともに、自分で考えた形をたくさん写しながら、版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、工夫して表している。	共同絵の具、版画インク、画用紙、透明シート、版画用具、はさみなど
				技 版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、表し方を工夫して表している。	技 版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、表し方を工夫して表している。		
				思 写し方を試しながら、表したいことを考える。	発 たくさんあったら面白い形を考え、造形的な面白さやたのしさを感じながら、どのように表すか考えている。		
				鑑 自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
学 型紙版画で写すことをたのしむ。	主 型紙版画の表現に関心をもち、版で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。						
				知 紙粘土の型押しをしたり絵の具で着色したりすることを通して、紙粘土の形や色などに気づいている。	知 紙粘土の型押しをしたり絵の具で着色したりすることを通して、紙粘土の形や色などに気づいている。	贈る人の好きなものや、その人に関わることを積極的に作品に取り入れて、メダルをつくることを通して、気持ちを伝える学習活動にたのしく取り組もうとしている。	紙粘土、共同絵の具、ひも、リボン、身近な材料、接着剤など
				知 気持ちが伝わるようにメダルの形や色を工夫	知 気持ちが伝わるようにメダルの形や色を工夫		

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
まごころメダルをプレゼント	工	4	紙粘土でメダルをつかって、気持ちを伝える。	知 する。	技 紙粘土や絵の具の扱い方に慣れ、表し方を工夫して表している。		
				思 贈る人のことを思い浮かべてメダルを考える。	発 贈る人のことを思い浮かべてメダルをイメージし、どのように表すか考えている。		
				☆学 メダルで気持ちを伝えることをたのしむ。	鑑 自分や友達の作品のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
かぶって へんしん	工	6	お花紙を重ねて貼り、張り子のお面をつかって遊ぶ。	知 形や色、紙の貼り方を工夫する。	知 お面をつかったり、かぶったりすることを通して、お花紙でつくるお面の形や色などに気づいている。	積極的にお面をつかったりかぶる活動に関わり、お面をつくることやかぶることの喜びを味わうとともに、お面をつかってかぶって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。	お花紙、洗濯のり、スチレン容器、プラスチック容器、ビニル袋、トレイ、ボウル、はさみなど
				技	技 お花紙や身近な材料などの扱いに十分に慣れるとともに、紙の貼り方を工夫して表している。		
				思 作りたいお面を考える。	発 なりたいもののイメージを広げて、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。		
				☆学 お面をつかったりかぶったりしてたのしむ。	鑑 お面をつくることやかぶることを通して、造形的な面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		